

岩手県立不来方高等学校 柔剣道場新築（建築）工事

図面リスト

【 建築意匠 】		【 建築構造 】	
図面番号	図面内容	図面番号	図面内容
A-01	建築工事特記仕様書1	S-01	構造特記仕様書(1)
A-02	建築工事特記仕様書2	S-02	構造特記仕様書(2)
A-03	建築工事特記仕様書3	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
A-04	建築工事特記仕様書4	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
A-05	建築工事特記仕様書5	S-05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)
A-06	建築工事特記仕様書6	S-06	鉄骨構造標準図(1)
A-07	建築改修・解体工事特記仕様書	S-07	鉄骨構造標準図(2)
A-08	敷地全体配置図・付近見取図	S-08	鉄骨梁継手表
A-09	配置図	S-09	QLルーフ標準図(参考図)
A-10	敷地求積図	S-10	ハイベースNEO標準図(1)(参考図)
A-11	全体建物面積表	S-11	ハイベースNEO標準図(2)(参考図)
A-12	建物求積図・平均地盤面算定図	S-12	地質調査図
A-13	仕上表・法検討	S-13	ソイルセメントコラム地業特記仕様書
A-14	平面図	S-14	伏図(1)
A-15	屋根伏図	S-15	伏図(2)
A-16	立面図	S-16	軸組図(1)
A-17	断面図	S-17	軸組図(2)
A-18	天井伏図	S-18	基礎、地中梁リスト
A-19	断面詳細図1	S-19	小梁、床版リスト
A-20	断面詳細図2	S-20	鉄骨部材リスト
A-21	渡り廊下詳細図	S-21	渡り廊下 伏図、軸組図
A-22	建具・家具平面図	S-22	部材リスト、詳細図
A-23	建具表1		
A-24	建具表2		
A-25	家具表		
A-26	平面詳細図1		
A-27	平面詳細図2		
A-28	平面詳細図3		
A-29	展開図1		
A-30	展開図2		
A-31	展開図3		
A-32	展開図4		
A-33	道場床仕様 詳細図		
A-34	外構 撤去図		
A-35	外構 改修図		
A-36	外構 撤去・改修詳細図		
A-37	樹木 撤去図		
A-38	日影図		
A-39	仮設乗入口設置図(24条申請)		
A-40	仮設計画図		

工事名 岩手県立不来方高等学校柔剣道場新築（建築）		工事 特記仕様書	
I. 工事概要			
1. 1. 工事場所 紫波郡矢巾町大字南矢橋9地割1番1			
2. 敷地面積 75.07㎡			
3. 工事規模 柔剣道場：鉄骨造平屋建 床面積 956 ㎡			
裏り廊下：鉄骨造平屋建 床面積 90 ㎡			
4. 工事範囲 建築工事			
II. 建築工事仕様			
1. 共通仕様			
図面、特記仕様書及び現場説明事項に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「標仕」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。			
2. 特記仕様			
(1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。			
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。			
(3) 特記仕様書に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。			
(4) □印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月閣議決定）」に定める判断の基準を満たす物品を示す。			

1 各 章 共 通 事 項	① 適用基準	○ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ○ 建築物解体工事共通仕様書（最新版） 国土交通大臣官房官庁営繕部 ○ 営繕工事写真撮影要領（最新版） 国土交通大臣官房官庁営繕部 ○ 建築工事標準詳細図（最新版） 国土交通大臣官房官庁営繕部
	② 工事実績情報システムへの登録 ③ 工事の記録等	○ 適用する (1.1.4) 報告による書式等 (1.2.4) ○ 現場説明書による ○ 標準仕様書1.2.4(4)により整備する工事写真については次による 「営繕工事写真撮影要領（平成28年版）」による工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 平成30年版 国土交通大臣官房官庁営繕部監修
2 仮 設 工 事	④ 施工管理技術者等	施工管理技術者 (1.3.2) ※施工管理技術者は、工事に相応した能力を有するものとし、資格等の能力を証明する資料を提出する。 電気保安技術者 ※ 適用する (1.3.3) ※標準仕様書1.3.5(1)以外の施工条件については、現場説明書による (1.3.5)
	⑤ 施工条件 ⑥ 発生材の処理等	・ 発注者に引渡しを要するもの ・ 現場説明書による (1.3.11) ・ 別管理産業廃棄物の種類及び処理方法 ・ 現場説明書による ○ 現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの ・ 現場説明書による ○ 本工事で発生する建設産業物のうち、岩手県内の最終処分場（中間処理施設経由を含む）に搬入される産業廃棄物については、岩手県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。
3 土 工 事	⑦ 材料の品質等	(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能のほか、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄等に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (1.5.2)
	⑧ 技能士	適用工事種別 職 種 技能検定の作業の種別 仮設工事 とび ○とび作業 鉄筋工事 鉄筋施工 ○鉄筋組立て作業 コンクリート工事 型枠施工 ○型枠工事作業 コンクリート圧送施工 ○コンクリート圧送工事作業 鉄骨工事 鉄 工 ○構造物鉄工作業 コンクリートブロックブロック建築 ○コンクリートブロック工事作業 ALCパネル、押出し成形セメント板工事 エーエルシーパネル施工 ○エーエルシーパネル工事作業 防水工事 防水施工 ○アスファルト防水工事作業 ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ○合成ゴム系シート防水工事作業 ○塩化ビニルシート防水工事作業 ○セメント系防水工事作業 ○シーリング防水工事作業 ○改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業 石 工 事 石材施工 ○石張り作業 タイル工事 タイル張り ○タイル張り作業 木 工 事 建築大工 ○大工工事作業 屋根・とい工事 建築板金 ○内外装板金作業 スレート施工 ○スレート工事作業 金属工事 内装仕上げ施工 ○鋼製下地工事作業 左官工事 左 官 ○左官作業 建具工事 サッシ施工 ○ビル用サッシ施工作業 ガラス施工 ○ガラス工事作業 自動ドア施工 ○自動ドア施工作業 カーテンウォール工事 カーテンウォール施工 ○金属製カーテンウォール工事作業 塗装工事 塗 装 ○建築塗装作業 内装工事 内装仕上げ施工 ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ○カーペット系床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業 表 装 ○壁装作業 排水工事 配 管 ○建築配管作業 舗装工事 路面標示施工 ○溶融ペイントハンドマーカ―工事作業 ○溶融ペイントマシンマーカ―工事作業 植栽工事 造 園 ○造園工事作業

1-2 一 般 共 通 事 項	⑨ 化学物質の濃度測定 (1.5.9)	※適用する 測定時期 ・ 現場説明書による ○ 工事完了時 測定対象化学物質 ○ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン 測定方法 ○バツプ型採取機器による 測定対象室及び測定箇所 ・ 仕上表による ○ 柔道場×2 剣道場×2 計 4カ所
	10. 技術検査 (1.6.2)	・ 中間技術検査 実施回数 () 回 実施する段階 ()
2 設 計 工 事	⑩ 完成時の提出図書 (1.7.1~1.7.3) (表1.7.1)	工事完成時の提出図書 ※標準仕様書1.7.2及び1.7.3による 完成図の提出 (1) 部 提出仕様 ○紙ベース ○電子データ 安全に関する資料の提出 () 部 提出仕様 (・紙ベース ・電子データ)
	⑪ 施工図及び施工計画書 (1.2.2)(1.2.3)	施工図及び施工計画書の提出について (1) 施工図の記載内容及び記載水準は、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築・設備工事施工図の描き方（平成元年版）」に準ずるものとする。 (2) 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り発注者に移譲するものとする。 (3) 提出部数は、監督員の指示による。
3 土 工 事	⑫ 完成写真	工事完成時に完成写真を撮影し、監督職員に提出する 撮影箇所及び提出サイズ、仕様 ※監督員の指示による
	⑬ 設備工事との取合い	施工範囲 ○ 図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ○ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強 ・ 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・ 自動閉鎖装置取付けの箇所の切り込み及び補強 ・ 他指示するところ 施工図 設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。
4 地 業 工 事	⑭ 経年検査	本工事完成 1 年後の経年検査 ・ なし ○ あり
	⑮ 監督員事務所	※ 設ける (規模、仕上の程度、設備、並びに備品等の種類・数量等は現場説明書による) ○ 設けない
5 鉄 筋 工 事	⑯ 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)
	⑰ 工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)
6 コ ン ク リ ー ト 工 事	⑱ 足場等	※ 設置する足場及び作業構台は、関連工事等の関係請負者に無償で使用させる。 ※ 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 平成21年4月24日）の「(別紙)手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には常時、すべての作業床について手すり、中横及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。
	⑲ 埋戻し及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1)	材料及び工法（施工箇所は図示による） ※標準仕様書表3.2.1による ・ A種 ・ B種 ・ C種（土質： 受渡場所： ） ・ D種 D種の場合 品質：細粒分（74μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする
7 鉄 骨 工 事	⑳ 建設発生土の処理 (3.2.5)	※ 構外搬出適切処理 ・ 構内指定場所に敷均し ・ 構内指定場所に堆積 ・ 構外指定場所に処分（搬出調書等を提出する） ○ 別途協議
	㉑ 山留め (3.3.3)	鋼や板等の撤去後の処理 ※直ちに砂等で充填する 山留の存置 ・ 行う（存置範囲等 ※図示） ○ 行わない
8 コ ン ク リ ー ト ブ ロ ク 造 工 事	㉒ 下記以外は構造関係特記仕様書による。	材料及び工法（施工箇所は図示による） ※適用する （・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上） ・ 適用しない
	㉓ 床下防湿層 (4.6.5)	※適用する （・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上） ・ 適用しない
9 防 水 工 事	㉔ 屋根・とい工事 (4.6.5)	施工範囲 ○ 裏り廊下
	㉕ 床下防湿層 (4.6.5)	※適用する （・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上） ・ 適用しない
10 地 業 工 事	㉖ 下記以外は構造関係特記仕様書による。	材料 (8.2.2)
	㉗ 1. 補強コンクリートブロック造 (8.2.3)	材料 断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ (mm) モジュール呼び寸法 (mm) 化粧の有無 適用箇所 備考 長さ 高さ ・ 空洞ブロック C(16) ・ 有・無 ・ 空洞ブロック D(20) ・ 有・無 ・ 有・無 モルタルの割合（容積比） (8.2.3) ブロックの区分がA (08)、B (12)、C (16) の場合で、目地幅が10mm程度の場合 ※標準仕様書 表8.2.1による 上記以外の場合 各部の配筋 ・ 図示による (8.2.5) 目地の仕上げ ・ 押し目地仕上げ ・ 化粧目地仕上げ (8.2.7) まぐさを受ける開口部両端のブロックにおいて、モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 ・ 図示による (8.2.8)
11 防 水 工 事	㉘ 2. コンクリートブロック帳壁及び壁 (8.3.2) (表8.3.1)	材料 (8.3.2) (表8.3.1) 断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ (mm) モジュール呼び寸法 (mm) 化粧の有無 適用箇所 備考 長さ 高さ ・ 空洞ブロック C(16) ・ 有・無 ※表8.3.1 ・ 有・無 ・ 有・無
	㉙ 3. ALCパネル (8.4.2~8.4.5) (表8.4.2~8.4.4)	パネルの種類 (8.4.2~8.4.5) (表8.4.2~8.4.4) 種類 単位荷重 (N/㎡) 厚さ (mm) 長さ (mm) 耐火性能 工法種別 ・ 外壁パネル (意匠パネル) ・ 100 ・ 有 (1) 時間 ・ A種 ・ B種 ・ 外壁パネル (平パネル) ・ 100 ・ 有 (1) 時間 ・ A種 ・ B種 ・ 間仕切壁パネル ・ 100 ・ 有 (1) 時間 ・ 無 ・ C種 ・ D種 ・ 屋根パネル ・ 100 ・ 有 (0.5) 時間 ・ F種 ・ 床パネル ・ 100 ・ 有 () 時間 ・ F種

6 コ ン ク リ ー ト 工 事	⑩ コンクリートの仕上り	関係特記仕様書による。 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上 (6.2.5) (表6.2.4) 種類 別 適用箇所 ・ A種 ・ 図示 ○ B種 ○ 図示 ・ C種 ・ 図示 コンクリート仕上りの平たんさの種類 (6.2.5) (表6.2.5) 種類 別 適用箇所 ・ a種 ・ 図示 ○ b種 ○ 床全て ・ c種 ・ 図示
	⑪ 7 鉄骨工事	下記以外は構造関係特記仕様書による。 1. 錆止め塗装 (7.8.2) 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※標準仕様書7.8.2(1)による ・ 図示による 下記以外の塗料の種類別は、標準仕様書18章による ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止めの塗料の種類 (表18.3.1) ※ A種 ・ B種 ・ 耐火被覆材が接着する面の種類 ・ 材料、工法等 (7.9.2~7.9.8) 種類 材料・工法 耐火性能 (時間) 適用箇所 (部位・部分) ・ 乾式吹付け ロックウール ・ 半乾式吹付け ロックウール ・ 耐火材吹付け ・ 湿式 ロックウール ・ 耐火板張り ・ 耐火材巻付け ・ 嵩断熱 ロックウール ・ ラス張り モルタル塗り ・ 耐火塗料
7 鉄 骨 工 事	⑫ 1. 錆止め塗装 (7.8.2)	下記以外は構造関係特記仕様書による。 1. 錆止め塗装 (7.8.2) 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※標準仕様書7.8.2(1)による ・ 図示による 下記以外の塗料の種類別は、標準仕様書18章による ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止めの塗料の種類 (表18.3.1) ※ A種 ・ B種 ・ 耐火被覆材が接着する面の種類 ・ 材料、工法等 (7.9.2~7.9.8) 種類 材料・工法 耐火性能 (時間) 適用箇所 (部位・部分) ・ 乾式吹付け ロックウール ・ 半乾式吹付け ロックウール ・ 耐火材吹付け ・ 湿式 ロックウール ・ 耐火板張り ・ 耐火材巻付け ・ 嵩断熱 ロックウール ・ ラス張り モルタル塗り ・ 耐火塗料
	⑬ 2. 耐火被覆材 (7.9.2~7.9.8)	下記以外は構造関係特記仕様書による。 1. 錆止め塗装 (7.8.2) 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※標準仕様書7.8.2(1)による ・ 図示による 下記以外の塗料の種類別は、標準仕様書18章による ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止めの塗料の種類 (表18.3.1) ※ A種 ・ B種 ・ 耐火被覆材が接着する面の種類 ・ 材料、工法等 (7.9.2~7.9.8) 種類 材料・工法 耐火性能 (時間) 適用箇所 (部位・部分) ・ 乾式吹付け ロックウール ・ 半乾式吹付け ロックウール ・ 耐火材吹付け ・ 湿式 ロックウール ・ 耐火板張り ・ 耐火材巻付け ・ 嵩断熱 ロックウール ・ ラス張り モルタル塗り ・ 耐火塗料
8 コ ン ク リ ー ト ブ ロ ク 造 工 事	⑭ 1. 補強コンクリートブロック造 (8.2.2)	材料 (8.2.2) 断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ (mm) モジュール呼び寸法 (mm) 化粧の有無 適用箇所 備考 長さ 高さ ・ 空洞ブロック C(16) ・ 有・無 ・ 空洞ブロック D(20) ・ 有・無 ・ 有・無 モルタルの割合（容積比） (8.2.3) ブロックの区分がA (08)、B (12)、C (16) の場合で、目地幅が10mm程度の場合 ※標準仕様書 表8.2.1による 上記以外の場合 各部の配筋 ・ 図示による (8.2.5) 目地の仕上げ ・ 押し目地仕上げ ・ 化粧目地仕上げ (8.2.7) まぐさを受ける開口部両端のブロックにおいて、モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 ・ 図示による (8.2.8)
	⑮ 2. コンクリートブロック帳壁及び壁 (8.3.2) (表8.3.1)	材料 (8.3.2) (表8.3.1) 断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ (mm) モジュール呼び寸法 (mm) 化粧の有無 適用箇所 備考 長さ 高さ ・ 空洞ブロック C(16) ・ 有・無 ※表8.3.1 ・ 有・無 ・ 有・無
9 防 水 工 事	⑯ 1. アスファルト防水 (9.2.2)(9.2.3) (表9.2.3~9.2.6)	屋根保護防水 防水層の種類 (9.2.2)(9.2.3) (表9.2.3~9.2.6) 種類 施工箇所 断熱材 □G 絶縁用シート 立上り部の保護 ・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ・ B-1 ・ B-2 ・ AI-1 ・ AI-2 ・ AI-3 ・ BI-1 ・ BI-2 (厚さ) ・ 25mm 立上り部への絶縁シートの設置 ・ 適用する ・ 適用しない 屋根露出防水 防水層の種類 (9.2.2)(9.2.3) (表9.2.7~9.2.8) 種類 施工箇所 断熱材 □G 仕上塗料の種類 使用量 高目針反射防水の適用 □ ・ D-1 ・ D-2 ・ DI-1 ・ DI-2 (材質) ※JIS A 9521に基づく 奥布プラスチック断熱材とする (種類) ・ ※ 図示 (厚さ) ・ 25mm
	⑰ 2. 改質アスファルトシート防水 (9.3.2)(9.3.3) (表9.3.1~9.3.3)	防水層の種類 (9.3.2)(9.3.3) (表9.3.1~9.3.3) 種類 施工箇所 断熱材 □G 防湿用シート 仕上塗料の種類 使用量 ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-I3 ・ AS-I4 ・ AS-J1 ・ AS-I-T1 ・ AS-I-J1 (材質) ※JIS A 9521に基づく 奥布プラスチック断熱材とする (種類) ・ ※ 図示 (厚さ) ・ 25mm ・ 設ける (改質アスファルト製製造所の仕様による) ・ 設けない

4. 押 出 し 成 形 セ メ ン ト 板	① パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材 (8.4.2) ・ 図示による ・ 外壁パネル構法、屋根及び床パネル構法 (8.4.3) (8.4.5) 耐風圧性能 () 耐震性能 () ・ 間仕切壁パネル構法 耐震性能 () パネルの最小幅 ※300以上 (8.4.3) (8.4.4) (8.4.5) パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の伸縮目地の目地幅 (mm) (8.4.3) (8.4.4) ※10~20 図示による 伸縮目地への耐火目地材の充填 (8.4.3) (8.4.4) ・ 適用する ・ 適用しない パネルの種類 (8.5.2~8.5.4) (表8.5.1) (表8.5.2)
	② 9 1. アスファルト防水 (9.2.2)(9.2.3) (表9.2.3~9.2.6)

承認	審査	検図	製図	特記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号	工事名称	縮尺	図面区分	図面番号
								23038	岩手県立不来方高等学校柔剣道場新築（建築）工事	—	建築意匠	A-01
									図面内容			
									建築工事特記仕様書 1			

20 ユニ ット 及 び そ の 他 工 事	1. フリーアクセスフロア	(20.2.2)	施工箇所	構法	仕上り高(mm)	寸法	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材
	2. 可動間仕切	(20.2.3)	材料等	構造形式	構成基材の種類	パネル	パネル表面仕上げ	遮音性能	(db/500Hz)
	3. 移動間仕切	(20.2.4)	材料等	操作方法による種類	圧接装置の操作方法	パネル表面材	遮音性能	(db/500Hz)	
	4. トイレブース	(20.2.5)	材料等	パネル表 面材 の 材 質	脚部の種類	ドアエッジの材質			
	5. 手すり	(20.2.6)	材料等	材 種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考	
	6. 階段滑り止め	(20.2.7)	材料等	材 種	形 状	寸法 (mm)	取付工法		
	7. 黒板及びホワイトボード	(20.2.9)	黒板	黒板の種類	区分	寸法	色彩	特記	
	8. 鏡	(20.2.10)	ホワイトボード	厚さ	寸法、取付箇所				
	9. 表示	(20.2.11)	材料等	区 分	材 質	寸法・形状	厚さ (mm)	備考	
	10. タラップ	(20.2.12)	材料の種類						
11. 煙突ライニング	(20.2.13)	煙突用成型ライニング材							
12. ブラインド	(20.2.14)	材料等	形 式	種 類	スラット等の材質	スラット幅(mm)	備 考		

20-1 ユニ ット 及 び そ の 他 工 事	13. ロールスクリーン	(20.2.15)	材料等	材 種	品 質	操作方法	幅、高さ	取付箇所
	14. カーテン	(20.2.16)	材料等	形 式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質	取付箇所
	15. カーテンレール	(20.2.16)	材料等	レール及びブラケットの強さによる区分	レールの材料による区分	レールの仕上げ	レールの形状	レールの付属物
	16. ブラインドボックス及びカーテンボックス	(20.3.2)	補強鉄線の径及び網目寸法					
	17. ブレキャストコンクリート	(20.3.3)	製作					
	18. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み	(20.4.2)	材料等	材 料	材 種	種 類	質量区分	備 考
	19. 点検口	(20.4.3)	工法					
	20. 耐震スリット		耐震スリット	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
	21. エキスパンションジョイント金物		目地	目地	内壁	外壁		
	22. 止水版		形式					
23. くつきマット		材 種						
24. 旗竿及び旗竿受金物		材 種						

20-2 ユニ ット 及 び そ の 他 工 事	25. 流し台ユニット	(21.2.1)	排水管用材料	材 種	種類・記号	形状	呼び径	備考
	26. 車止め支柱	(21.2.1)	フェンス	フェンスの種類				
	27. 収納家具	(21.2.1)	降下機構					
	28. 鋼製書架及び物品棚	(21.2.1)	鋼製書架					
	29. 屋内掲示板	(21.2.1)	照明器具					
	30. 洗面カウンター	(21.2.1)	排水管用材料					
	31. 防煙垂れ壁	(21.2.1)	排水管用材料					
	32. 屋外掲示板	(21.2.1)	排水管用材料					
	33. 敷地境界石標	(21.2.1)	排水管用材料					
	34. 敷地境界石標	(21.2.1)	排水管用材料					

22 舗 装 工 事	2. 街きよ、縁石及び側溝	(21.3.1)	材料	種 類	形状、寸法
	1. 路床	(22.1.3)	路床の材料		
	2. 路盤	(22.3.2)	路盤の厚さ		
	3. アスファルト舗装	(22.4.4)	材料		
	4. コンクリート舗装	(22.5.2)	コンクリート舗装		
	5. カラー舗装	(22.6.2)	舗装の種類		
	6. 透水性アスファルト舗装	(22.7.2)	舗装の種類		
	7. ブロック系舗装	(22.8.2)	舗装の種類		
	8. 透水性アスファルト舗装	(22.8.2)	舗装の種類		
	9. 透水性アスファルト舗装	(22.8.2)	舗装の種類		

承認	審査	検 査	製 図	特 記	改訂番号	改訂月日	改訂内容	業務番号	工事名称	図面内容	縮尺	図面区分	建築意匠
								23038	岩手県立不來方高等学校柔剣道場新築（建築）工事	建築工事特記仕様書 5			A-05